



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 日本金属工業株式会社

コード番号 5479 URL <http://www.nikkinko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 義村 博

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 郷 誠

TEL 03-3500-5647

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	62,908	△8.3	△2,332	—	△2,981	—	△4,175	—
23年3月期第3四半期	68,637	27.8	993	—	93	—	△78	—

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 △4,287百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △476百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△23.01	—
23年3月期第3四半期	△0.45	—

(注)24年3月期第3四半期並びに23年3月期第3四半期は潜在株式が存在しておりますが、四半期純損失であるため潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	84,858	17,810	21.0	98.11
23年3月期	90,844	22,098	24.3	121.73

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 17,805百万円 23年3月期 22,093百万円

(注)24年3月期第3四半期並びに23年3月期の自己資本は純資産の総額から新株予約権(5百万円)の金額を控除しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期の配当予想に関する事項については、本日(平成24年2月3日)公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△14.2	△4,600	—	△5,500	—	△6,000	—	△33.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期の連結業績予想に関する事項については、本日(平成24年2月3日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	185,605,475 株	23年3月期	185,605,475 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	4,119,899 株	23年3月期	4,119,539 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	181,485,429 株	23年3月期3Q	173,106,425 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、同法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果になる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3(3)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）におけるステンレスの国内需要は、ニッケル価格の下落に伴うステンレス市況の先安感による買い控えや、円高の定着による輸入材の増加、国内需要の減少もあり、低調に推移しました。輸出につきましても、歴史的な超円高の進行による国際競争力の低下や採算の悪化により厳しい受注環境が続きました。

この様な状況下、当社グループは、内部努力の積み重ねにより、生き残りをかけた事業構造、収益構造及び財務体質の改革を実行しております。基盤強化策としては、全部門のコストカット、グループ人員のスリム化と重点部門への配置転換などを実行し、将来発展計画としては、戦略商品部門の強化、汎用品から低コスト・省資源型鋼種や高付加価値商品へのシフト及び海外生産の加速を進め、国内営業・海外営業の強化を図っております。しかしながら、国内・海外の厳しい受注環境から、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8.3%減少の629億円となりました。営業損失は23億円（前年同期比33億円減益）、経常損失は29億円（前年同期比30億円減益）、特別損失として投資有価証券評価損9億円等を計上した結果、当第3四半期連結累計期間の四半期純損失は41億円（前年同期比40億円減益）となりました。

なお、計上しました投資有価証券評価損9億円につきましては、洗い替え処理にて当第4四半期期首において戻し入れ処理（益）を行います。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて「受取手形及び売掛金」が26億円減少、「商品及び製品」等の棚卸資産が14億円増加、設備投資を7億円実施し減価償却費を34億円計上したことにより「有形固定資産」が27億円減少、株価下落による投資有価証券評価損の計上等により「投資有価証券」が13億円減少した結果、前連結会計年度末に比べて59億円減少し848億円となりました。

負債は、「支払手形及び買掛金」が24億円減少、「短期借入金」が14億円増加、「1年内償還予定の社債」が47億円減少、「長期借入金」が37億円増加した結果、前連結会計年度末に比べて16億円減少し670億円となりました。

純資産は、「利益剰余金」の減少41億円等により、前連結会計年度末に比べて42億円減少し178億円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.3ポイント低下し21.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、東日本大震災の復興需要の本格化が予想され、国内のステンレス需要も徐々に回復するものと予想されますが、為替相場の動向、国内外の需要がなお不透明な情勢にあり、厳しい経営環境が続いておりますので、平成23年10月31日に公表しました通期の連結業績予想を修正いたします。

本日（平成24年2月3日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社グループとしましては、競争力の源泉である国内拠点の維持・強化を図るとともに、成長する新興国需要を獲得し、その成果を国内に還元して更なる競争力強化につなげられるよう全社を挙げて構造改革を強力に推進し、収益の回復に努めてまいります。

また、ステンレス業界を取り巻く経営環境は劇的に変化しており、経営基盤の拡充とステンレス事業の強化による企業価値の持続的な向上を図り、現在並びに将来に亘り、お客様・株主・従業員を含む全てのステークホルダーの皆様からご支持頂く会社であり続けるために、平成24年10月1日を目処として日新製鋼株式会社と当社の経営統合を実現すべく基本合意し、具体的な検討を進めております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,307	3,485
受取手形及び売掛金	11,174	8,477
商品及び製品	4,576	5,527
仕掛品	8,190	8,268
原材料及び貯蔵品	11,651	12,065
繰延税金資産	700	603
その他	1,474	2,120
貸倒引当金	△12	△10
流動資産合計	42,063	40,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,197	12,597
機械装置及び運搬具（純額）	18,438	16,309
土地	5,954	5,950
建設仮勘定	280	290
その他（純額）	602	556
有形固定資産合計	38,473	35,704
無形固定資産	144	121
投資その他の資産		
投資有価証券	7,603	6,278
繰延税金資産	293	280
その他	2,302	1,979
貸倒引当金	△35	△45
投資その他の資産合計	10,163	8,493
固定資産合計	48,781	44,319
資産合計	90,844	84,858

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,580	12,121
短期借入金	23,965	25,418
1年内償還予定の社債	5,735	985
未払金	346	339
未払費用	467	1,222
未払法人税等	17	17
賞与引当金	316	238
その他	471	560
流動負債合計	45,900	40,902
固定負債		
社債	922	555
長期借入金	18,047	21,760
繰延税金負債	17	—
退職給付引当金	3,834	3,799
その他	24	30
固定負債合計	22,845	26,145
負債合計	68,745	67,047
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,408	13,408
資本剰余金	7,682	7,682
利益剰余金	2,184	△1,991
自己株式	△1,052	△1,052
株主資本合計	22,223	18,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	18
繰延ヘッジ損益	△10	15
為替換算調整勘定	△216	△275
その他の包括利益累計額合計	△129	△242
新株予約権	5	5
純資産合計	22,098	17,810
負債純資産合計	90,844	84,858



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	68,637	62,908
売上原価	63,454	61,118
売上総利益	5,182	1,790
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,333	1,238
給料及び賞与	885	947
賞与引当金繰入額	58	110
退職給付費用	223	231
その他	1,688	1,593
販売費及び一般管理費合計	4,189	4,122
営業利益又は営業損失(△)	993	△2,332
営業外収益		
受取利息	2	13
受取配当金	118	119
為替差益	—	8
持分法による投資利益	—	27
助成金収入	36	43
その他	251	196
営業外収益合計	409	408
営業外費用		
支払利息	876	977
為替差損	273	—
持分法による投資損失	27	—
その他	132	80
営業外費用合計	1,309	1,058
経常利益又は経常損失(△)	93	△2,981
特別損失		
固定資産除却損	36	44
投資有価証券評価損	—	988
債権譲渡損	17	—
土壌浄化費用	14	—
特別損失合計	68	1,032
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24	△4,014
法人税、住民税及び事業税	38	48
法人税等調整額	64	111
法人税等合計	102	160
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△78	△4,175
少数株主損失(△)	—	—
四半期純損失(△)	△78	△4,175

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△78	△4,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△559	△79
繰延ヘッジ損益	51	26
持分法適用会社に対する持分相当額	110	△59
その他の包括利益合計	△397	△112
四半期包括利益	△476	△4,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△476	△4,287
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。